

多目的交流物産館(旧かのな)の活用に向けたサウンディング型市場調査  
現地見学会及び事前説明会における質疑応答集

令和2年6月25日開催

質問1	今回のサウンディング型市場調査の方向性として、大規模な改修又は取壊し・新築との説明があったが、既存の施設を利用することでの検討も可能なのか
回答1	昨年11月に実施した第1回目のサウンディング型市場調査の結果を踏まえ、今回は大規模な改修又は取壊し・新築の方向性で検討しているが、既存施設を利用した提案も可能であれば、是非ともお伺いしたいと考えている。

質問2	第2回目のサウンディング型市場調査を実施するに至った経緯は
回答2	前回のサウンディング型市場調査は、対象事業者を市内に限定して実施したが、「周知不足もあり、参加が2事業者に留まり、多くの意見をお聞きすることができなかったこと」、「市外の事業者の中にも、地域の事業者と連携した取り組みを積極的に考えられている事業者が存在すること」などから、第2回のサウンディング型事業調査を実施することとした。

質問3	市内の中小企業が単独で参入するのは難しいと感じた。 恵庭市としては、大企業の進出を中心に利活用を検討しているという理解で良いか。
回答3	そのような考えは持っていない。都市公園の賑わいの創出や地域への貢献・発展を考え、事業を行っていただける事業者にご協力いただけることが大切と考えている。企業規模問わず実現可能な提案を伺いたい。 なお、サウンディング型市場調査でお聞きしたいと考えている項目は多岐にわたりますが、提案ができる部分のみをお聞かせいただく形でもかまいません。

質問4	公募の開始までのスケジュールについて、今年中に公募を開始する予定とのことだが早まることもあるのか
回答4	新型コロナウイルス感染拡大の影響から、このタイミングで公募をかけることが良いのか判断がつかない部分もある。状況から、スケジュールを遅らせることは考えられるが、早まることはないと考えている。